

## 平成 20 年度プリムラ利用状況 平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

平成 20 年度プリムラ利用状況													
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開設日	21	20	21	22	16	20	22	18	19	19	19	21	238
補助	81	57	89	79	47	52	88	60	47	70	60	72	802
自主	4	0	4	2	0	0	1	4	0	0	1	4	20
合計	85	57	93	81	47	52	89	64	47	70	61	76	822

4 月は保育園に入園したばかりの 1 歳児の利用が 30% でした。発熱での利用は相変わらず 40% 余りです。水痘はまだ流行が残り隔離室は連日使用していました。溶連菌感染での 3 歳～5 歳児の利用も多々あります。0 歳児、1 歳児は入室時から暫く泣いて、抱っこ、抱っこで 1 対 1 保育がかなり要求されます。また隔離室でも 1 対 1 の保育です。高熱や下痢で食欲がなかったり、ぐずったりしている幼児の多い忙しい 4 月でしたが、「またプリムラに来たい」と言って元気に帰る子供達の笑顔にスタッフは癒されています。

5 月は連休で保育園の疲れも取れ、少し慣れたのでしょうか、4 月より利用が少なくなっています。0 歳児の利用が 30% 余りあり、0 歳から 2 歳児は利用の 70% を占めています。利用児は日によって多い日も少ない日もあり利用をお断りした事もあります。相変わらず当日キャンセルは多い状況です。

6 月、雨の少ない蒸し暑い梅雨時でした。連日風邪症状の発熱児が多く、咽頭炎、アデノウイルス感染、ヘルパンギーナが増えています。0 歳、1 歳児は利用延べ人数の半数を占めていました。水痘、胃腸炎は暑さと伴に少なくなっています。利用延べ人数はプリムラ始まって以来最高の 93 名でした。

7 月、連日の猛暑、雨の少ない 7 月でした。梅雨も明け 7 月の後半は殆ど咽頭炎、ヘルパンギーナによる発熱でした。意外と胃腸炎は少なく、水痘はまだ少し残っています。溶連菌、手足口病はそれぞれ 1 名で少ない状況です。ウィルス感染症は雨が降ると 1 段落して、晴れの日が続くと多くなる傾向があるようです。保育園では水遊び、お散歩など外に出る機会が多くなり、子供達も紫外線を浴びる事が増えてきます。過度の紫外線は免疫力を低下させるので、休日のプール、外出した後は熱が出ています。「日焼けは健康的」という事は今の時代は当てはまりませんね。

8 月、初旬は暑さが厳しく発熱も多く、プリムラも賑わっていましたが、中旬後は比較的涼しくなり落ち着きました。相変わらずヘルパンギーナ、咽頭炎などによる発熱が殆ど胃腸炎は 1 名、珍しく水痘が 1 名でした。

9月、急に涼しくなり雨の多い9月でした。外来は喘息用気管支炎、咳風邪は多くても発熱は少なく、プリムラ利用者は8月と同様に殆どはヘルパンギーナ、咽頭炎による発熱がほとんどでした。耳下腺炎1名、胃腸炎は0でした。プリムラではお月見の飾り付けをしました。

### 9月の月見



10月、さわやかな秋晴れの日が多く、例年に無く暑い10月でした。室内ではまだ除湿、冷房をしていました。朝夕の気温差もあり、子供達は寝冷えをするのでしょうか、発熱、咳が多く0歳児、1歳児に例年より早くRS感染が増えてきました。プリムラではRS隔離室で保育をしていました。咳、熱の子供に全員RS検査はしませんが、0歳、1才で発熱咳、喘息用気管支炎症状には検査を行い出来る限り隔離をしていました。RS感染は症状が様々で個人差があります。これからインフルエンザが流行する時期にRSも混じり、来る冬が思いやられます。今年もハロウインの飾り付けをしました。

### 10月のハロウイン



### ハロウイン折り紙



11月、相変わらず10月同様熱、咳での利用が多い月でした。胃腸炎も多くなり月の後半はRS感染も次第に少なくなっています。2歳児が半数で次に1才児、5才児が多くなっています。当日キャンセルも多い月でした。

12月は咳、発熱は少なくなり、下痢、腹痛の胃腸炎症状が増えてきました。なんとなく気持ちが悪い、おなかが痛い、元気が無いので保育園を休みプリムラで過ごす、殆どは1日で元気になっています。その為に12月も当日キャンセルが多くなりました。当日の朝から数回吐いている場合はプリムラ利用をお断りしました。吐き気が出て12時間以上経過すれば、ある程度は吐き気も治まり水分も摂れますが、朝から吐いている場合はかなり元気が無くぐったりしています。

### 12月の子供達が作ったクリスマスツリー



1月、例年になくインフルエンザの流行が早く、利用児の80%近くがインフルエンザAでした。インフルエンザが主流になり、インフルエンザ以外の発熱は少なく、胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎も出ています。インフルエンザは発熱2日～3日目はかなり高熱がでて辛そうです。ワクチンを接種していても、タミフルを飲んでいても発熱2日目は普段高熱熱でも元気な子供が動かないでじっと寝ています。ワクチンをしていない1才～2歳児で普段お薬もイヤイヤの子供さんは発症3日目まではプリムラでお預かりする事は少し無理があります。年齢と症状でプリムラ利用をお断りする事もありますのでご理解ください。新年を迎え、プリムラスタッフは気持ちも新たにプリムラを訪れる子供達と過ごしています。今年はインフルエンザが多くスタッフの感染防御のためにも健康管理のためにもマスクをして子供達と接しています。またなるべくマスクの出来る子供には室内でもマスクを勧めています。

### 1月の雪だるま



2月、3月、2月は インフルエンザA、水痘、胃腸炎、発熱での利用がありました。0歳、1歳児が半数近くで人手がかかる月でした。3月になるとインフルエンザBが流行り、季節の変わり目の喘息様気管支炎も出ています。相変わらず発熱が利用の半数以上を占めています。0歳、1歳、5歳以上がそれぞれ30%を占めていました。インフルエンザB型は、A型と違い迅速診断で陽性になるのが遅く、また熱も39℃の翌日は37℃で保育園に行き発熱で呼び出されたりして診断に至るまでが発熱3日目ぐらいのこともありました。前日インフルエンザ陰性でも発熱児は入室時に再度の検査が必要でした。

プリムラは今年度練馬区定員が6名になり昨年度より101名多くの利用がありました。発熱で前日利用希望があり、翌日入室時にインフルエンザBと診断してお預かりする場合も多々ありました。高熱児、下痢のある場合などかなり重症の場合でも無事1日が過ぎ翌日回復傾向が見られると、スタッフは心から安堵しています。普段の保育園とは違って病気でお子様をお預かりするので、プリムラとしてもなるべく詳しくご家庭での様子を把握するために、是非家庭との連絡表を入室前に記入してお持ちください。また投与された薬は確実に家庭でも飲ませるようにして戴きたいと思います。今年度も恙無くお子様をお預かりする事が出来て、皆様のご協力に感謝いたします。来年度も宜しくお願い致します。